



ホームページ

心豊かな人づくり 元気あふれる町づくり
市民の絆をつなぐ公民館活動



きずな

編集発行

小松市公民館連合会
〒923-0303
小松市島町力 20
(0761)21-3536
sikouren@city.komatsu.lg.jp
発行責任者 中屋 幸夫

題字 小松市長 宮橋 勝栄

第67回 小松市公民館大会 開催

令和5年度 小松市公民館大会は、12月10日(日)午後1時30分より小松市民センター大ホールで開催されました。tomosakiさんによるエレクtron演奏で開幕し、中屋会長挨拶の後、各種表彰式が行われました。その後、



宮橋勝栄市長より「今大会を機に共に学びあいながらこれからの地域づくりを考え励んでほしい」。新田寛之市議会議長より「公民館活動をとおして人と人が顔を合わせて過

ごしていく時間を大切に」。石黒和彦教育長より「公民館が生涯学習、住民自治の理念の基、生きがい・健康・仲間づくりを積極的に取り組んでいける活動をお願いしたい」との祝辞を頂き、岡山晃宏福祉文常任委員会委員長、建部磯香FAVO 南加賀版編集長の紹介がありました。大会の様子は、小松市公民館連合会ホームページにて配信しています。

式典後の実践発表では国府校下公民館より、「1200年の歴史を体感せよ〜輝き続け国府の未来〜」国府校下が一致団結した実践報告がありました。



(池津勝教氏 講演)

気象キャスター池津勝教氏による『機構変動時代を考える〜小松の未来予報〜』と題し、2100年の小松の未来の天気予報を見てもらい、地球温暖化に備え、温室効果ガスを減らすよう意識を変える必要などを話していただきました。



(国府校下公民館 坂下館長 実践発表)

受賞者一覧

優良公民館表彰
稚松校下公民館
芦城校下公民館

功労者表彰
宮風 敏明(土居原町)



(功労者表彰)



(優良公民館表彰)

優良職員表彰

- 本多 喜久由(東陵校下)
- 亀田 達也(育成町)
- 南出 智行(育成町)
- 土井 康宏(粟津校下)
- 吉田 良平(粟津校下)
- 喜多 直人(林町)
- 中野 善隆(相生町)
- 河津 徹也(育成町)
- 市川 靖司(本折町)
- 阿慈知寛直(未広町)
- 藤原 雅人(栄町)
- 丸山 政寅(本折町)
- 伊野 史男(三日市町)
- 大音師 豊(今江校下)

館報紙(誌)コンクール表彰

応募総数 20紙(誌)

★最優秀賞★

『東陵』 東陵校下公民館

★優秀賞★

- 『広報みのわ』 菘輪町公民館
- 『館報やたの』 矢田野校下公民館
- 『広報わかすぎ』 若杉町公民館

★奨励賞★

- 『市立芦城公民館だより』 市立芦城公民館
- 『館報こくふ』 市立国府公民館
- 『シマにこにこ便り』 島町公民館
- 『紅梅』 長谷町公民館

★審査員特別賞★

『湯の郷あわづ』 粟津町公民館



(審査員特別賞)



石川県公民館大会

日時 10月5日(木)

県大会は志賀町文化ホールで「親しまれる公民館を目指して」地域に慕われる公民館の役割と題して地域と結びついた公民館の在り方について知見を深め、新時代の要請に応える公民館の役割を明らかにすることを目的として開催されました。

大会では、高辻 聰氏に退任館長感謝状が授与されました。



東海北陸公民館大会

日時 10月20日(金)

岐阜県大垣市で開催され「未来を指向する公民館く人・地域を育む拠点としての新たな高みを求めて」と題し、公民館関係者が一同に会し、研鑽を深め、変貌しつつある地域社会に毅然とした態度で臨み、今後の公民館活動をより確固たるものにと開催されました。

大会では全国公民館優良職員表彰が行われ、中屋幸夫会長が表彰されました。



館長視察研修

日時 10月21日(土)

東海北陸公民館大会参加にあわせ館長視察研修として、岐阜市立中央図書館を視察。「みんなの森ぎふメディアアコスモス」という複合施設の2階部分が図書館でした。本棚を低くして全体が見渡せるようにしてあり、天井からはとても大きな明るいデザインインの布製の電気傘が下がっていました。傘の下のスペースでは、そこを活用するテーマの設定のもとで設備も工夫されており、多彩な利用目的に応えられるようになっていました。



岐阜市の古と現代を学ぶことのできた視察研修となりました。符津校下公民館 主事 木原浩二

ブロック研修

西部ブロック

「子どもとインターネット」

～現状とトラブル防止対策～

日時 10月21日(土)

会場 今江「しろやま会館」

参加 14名

講師 石川県少子化対策監室

主幹 林 亮 氏

今年度は石川県の県政出前講座を利用して、子どもとインターネットという内容について研修しました。講師の方は元警察署少年課に在籍されたこともあり、地域の非行や犯罪まがいの事象に関連することもお話しされました。普段からインターネットを使う状況です。家族でその使用の時間に制限を設け、家族の約束事やルールを作り、家族と過ごす時間や睡眠の時間をきちんと確保することが大切であるとお話ししてくださいました。



東南部ブロック

「加賀立国1200年を訪ねて」

日時 11月19日(日)

会場 加賀国府歴史ものがたり館

参加 20名

講師 加賀国府歴史ものがたり館

望月館長

823年に加賀に国府が置かれて1200年目の歴史を訪ねて加賀国府歴史ものがたり館を訪ねました。加賀立国前の江沼と能美の勢力圏から加賀の国誕生後に発展する過程や地形の変化に伴う移住なども知れて大変勉強になりました。

また、国府(庁)は、「大宝律令」の制定をもって確立され中央直轄の地方政府として諸国に置かれたのが国府であり国府地区の名前の由来と知り改めて歴史の長さや大事な場所を認識しました。展示コーナーでは、古墳群から発掘された展示品がイラストと一緒に見る事が出来て分かりやすかったです。今後の公民館活動で地元の歴史を紹介するのに子供達を連れて来ようと思います。皆さんも一度訪れてはいかがでしょう！
天気が悪く古墳には登らなかつたけど白山が見れそうな時に再度訪れてみようと思います♪



ブロック研修

南部ブロック

目で見える小松の歴史④

「平成のこまつ」

日時 11月19日(日)

会場 市立南部公民館視聴覚室

参加 12名

講師 加南地方史研究会副会長・
符津校下公民館主事 木原浩二氏

加南地方史研究会創立70周年を記念して刊行された『目で見える小松の歴史④「平成のこまつ」』を演目に、本書の編纂を担当された木原浩二氏をお招きして開催しました。

講演では、平成の時代を順を追って懐かしい画像やその当時のお話、そして所々にテレビ小松から提供を受けた映像が挿入され、思い出深い写真や動画に皆さん和やかに見入っていました。その中で、平成14年11月に仮線から完成した高架線に線路が切り替えられ、これに合わせて新しい小松駅舎の供用が開始されることが紹介されると、参加者の一人で当時小松駅長を務められ、現在市公連参与の西村博さんから、当時の苦労話や内輪話等貴重なお話をお聞きすることができました。木原さん、懐かしく、また貴重なお話をありがとうございました。



東部ブロック

レク式体力チェック

日時 11月24日(金)

会場 第一地区コミュニティセンター

参加 23名

講師 小松市スポーツ推進委員
酒井康光氏(第一校下)

コロナ禍で、外出や運動を控えていた間に、基礎体力が衰えていませんか？また、ロコモティブシンドロームを予防する為に、レクリエーションを兼ねて、簡単に、いつでも、どこでも、楽しく、全世代でチェックできる体力チェックというテーマで東部ブロック研修会を開催しました。座学で柔軟性、俊敏性、平衡性、筋力、肺機能、総合力を測れるレク式体力チェック6項目を講義していただいた後に、肺機能をチェックできるストロー、総合力をチェックできるツーステップという、2種類の実技を開催しました。実技後は各自の成績を性別年代別チェック評価表にて評価を行い、自分の体力を確認しました。最後に講師酒井様より各項目のチェック方法も年代を問わず、簡単に体験出来るものばかりです。スポーツ推進委員にお問い合わせくださいとの説明で、研修会は終了しました。



北部ブロック

「酒蔵見学」

日時 11月25日(日)

会場 西出酒造

参加 8名

小松市下栗津町にお店を構える西出酒造にて研修会を行いました。

ご家族でお店を切り盛りされていて、お店の歩み、酒造りにかける思い、苦労話、お酒の造り方、お酒の銘柄などの説明をうけました。とても忙しい時期でお酒を造る全ての工程を見学は出来ませんでした。分かりやすく丁寧に説明して頂きました。蔵の酒『春心』昔ながらの製法で造る。例えるなら自然の材木を適材適所にえらんでつくる木造建築のようなお酒、それが『春心』お店で色々な種類のお酒を飲み比べできるので、今回は車の運転があり出来ませんでした。代わりに仕込み水で入れたコーヒードザートをいただきました。どちらもとても美味しく、また行きたいと思いをしました。その時はぜひお酒も飲み比べもしてみたい。酒蔵見学といういい体験ができ、個人でお酒を買い求める参加者もあり、楽しい研修会になりました。



中央ブロック

「知らないと本当に怖い腸活のお話」

日時 11月30日(木)

会場 公会堂

参加 20名

講師 腸活専門店
Sedina 今井さやか氏

自らが40年間苦しんだ「過敏性腸症候群」を短期間で克服した経験から、独自の手法で同じ症状に悩む方々を指導するほか、下痢症、便秘症などお腹の不調を改善する指導も行う今井さやか氏にご講演いただきました。今回の研修では、近年注目されている腸活について正しく理解していただくために、そもそも腸がどのような臓器であり、どのような働きをしているのか、どのようなことが原因で正常な働きが妨げられるのかについても教えていただきました。

腸活という言葉は知っていても、腸については知っていないように、知らないことが多く、参加した方々には貴重な学びの機会になりました。今井さんは過敏性腸症候群に悩む方々の駆け込み寺的な存在となっており、多くの方に知ってもらいたいと思っていました。



主事会視察研修会

◆10月15日(日)◆

本年度の主事会視察研修は、小松の魅力を再確認する為に小松の歴史的な箇所を巡るというテーマで、海から山、弥生時代から令和、地理と時代を巡りました。「那谷寺」では、小松市観光ボランティアガイドの会「ようこそ」さんから開創の成り立ち、那谷寺という名前の起源、お寺の中になぜ神社があるのか等々説明していただき、次に「安宅の関」まつ勸進帳の里の安宅カフェにて安宅海岸を眺めながら昼食、午後からは、「尾小屋鉾山資料館」にて、学芸員さんから鉾山の歴史、尾小屋がいかになわつていたのかを説明していただいた後に、尾小屋マインロードを見学、最後に「加賀国府ものがたり館」を館長さんから、弥生時代から加賀国府が設置された現在まで千二百年の歴史を説明していただきました。各施設は、皆様も訪れた事がある場所と思えますが、精通された方々に説明を受けながら鑑賞させていただきました。また、時間も足りないと感じました。各施設の方々も公民館の研修等には是非ともご利用くださいとのことですので、皆様も、もう一度訪れられてはいかがでしょうか？



西和久

能美校下公民館

館長 森本 修

能美校下公民館は能美小学校を中心に、平面町、一針町、川辺町、能美町、千代町の5町内で構成され、小松市の北部にあります。

校下の公民館行事は、社会体育大会(運動会)、のうみまつり(文化祭)を例年開催していました。

しかし、コロナ禍により、ここ数年行事の開催を見送られてきました。昨年は、コロナウイルスも収束し、行事の計画もしていましたが開催することができませんでした。今年は、規模や内容は二の次に、まずは「開催する」ということを目標に頑張りたいと思います。

そして、また以前のようにながさくが楽しく交流できる行事が開催でき、地域の活性化に貢献できたらと思います。



市立南部公民館

館長 神田 和明

市立南部公民館は、南部地区の生涯学習、コミュニティ活動の拠点施設として、南部中学校校舎に併設し、南部図書館と向かい合う形で設置されております。

南部地区には符津、木場、栗津、那谷、矢田野、月津の6つの校下があり、市立南部公民館を事務局に、それぞれの校下公民館を構成員として南部地区公民館連合会が組織され、日頃から地区内の公民館活動の情報・意見交換、連絡調整に努めております。

また、南部公民館では、12の主催教室を開催し、高齢者の方を中心に、ヨーガや健康体操、書道や生花、水引、折紙教室等、身体を動かしたり、趣味の活動に興じたりして、仲間の皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごされています。その中でも昨年からは北國銀行さんの協力を得て、「大人のためのマネーセミナー」を開催しております。資産は自分でつくる時代、貯蓄から投資へ、たくさんの皆さんのご参加をお待ち致しております。



人物

ローズアップ



- ① 公民館在籍年数
- ② 趣味
- ③ 好きな歌手・歌(心に残る曲)
- ④ 尊敬する人物とその理由
- ⑤ 公民館活動に一言



第一校下公民館
館長 南出 正晴

- ① 校下公民館 館長5年
- ② 加賀太鼓、旅行
- ③ 80年代の洋楽全般
- ④ いまは亡き両親
- ⑤ 一生懸命働き厳しく楽しく子ども4人を育ててくれた昨今の被災害により地域コミュニティの大切さを改めて痛感しております人の和を広げていきたい



市立芦城公民館
主事 村井 小夜子

- ① 市立公民館 主事6年
 - ② ウクレレ・ヨガ
 - ③ 斉藤和義・田島貴男
 - ④ 歌うたいのパラッド
 - ⑤ 忌野清志郎
- 心に響くたくさんの曲とメッセージを残してくれた地域と人がつながれる場所、拠り所となるような場所づくりを目指していきます。

☆☆編集後記☆☆

この度の震災に対し、心からお見舞い申し上げます。皆様方の一日も早い復興をお祈り致します。